



井島 彰太 (中3) 渡邊 早一郎 (中3) 米村 崇礼 (中3) 喜読 海翔 (中3)
小林 遼雅 (中3) 園田 崇人 (中3) 緒方 陽衣路 (中3) 増永 光 (中3)
大高 綾太 (中3)

ものづくり部3年生の集合写真
前列左から4人が全国大会出場メンバー (敬称略)

アイデア賞受賞！ 4年連続14回目の全国の舞台

12月9、10日、御船中学校 (吉見和洋校長・388人) ものづくり部が、沖縄の地で開催された、第19回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会に出場しました。応用部門で上位入賞、アイデア賞を受賞し、見事全国への切符を手に入れました。また、同時に開催された第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア木工チャレンジコンテストの制作部門で岩本真輝さん (中2) が九州大会2位の成績で全国へと歩みを進めました。

「一心不乱」チームが出場した応用部門は、競技テーマが「つむつむライン」。1対1の対戦方式で、競技時間150秒の間に、メインロボットと自動制御で動くビックリドッキリメカを使用し、紙の筒をゴールに差し、縦・横・斜めのラインを作り、どのようにラインを獲得するか、戦略性とさまざまな創意工夫が問われます。

チームリーダーの園田崇人さん (中3) は「九州大会では、トラブルがあったが、どの試合も接戦だった。全国大会では、優勝目指して頑張りたい。そして、熊本県



岩本 真輝 (中2)
木工チャレンジの部

▲慣れた手つきで板を切る



第5回九州地区U・12サッカーフェスティバルが12月23日から25日にかけて宮崎県総合運動公園で開催されました。益城町を中心に活動するFC・BIG WAVEのチームで御船町からは5人の選手が出場しました。全日本少年サッカー大会熊本県大会では、127チームが参加し、見事3位を勝ち取り、九州大会に進出。九州大会での試合結果は、予選グループから勝ち残り、24チーム中、3位トーナメントの部で3位の成績でした。

5人の選手たちの所属するFC・BIG WAVEは、熊本地震でホームグラウンドを被災しました。大好きなサッカーができるように募金活動を行いながら、現在もグラウンドを転々としている状況です。この震災の中で、たくさんの人たちに勇気と希望をもらいました。選手たちは、お世話になった人たちに少しでも恩返しをするために、これからも一生懸命なプレーや夢への挑戦を誓いました。

5人の選手たちの紹介は次のとおりです。(敬称略)



14 小三田 棕
Kosanda Ryo (6年)

①ミッドフィルダー②14番③周りを見てプレーすること④相手も強いな！と感じた。自分の力をあまり発揮できなかった⑤どんな相手にも自分のプレーができるように頑張りたい！夢はプロサッカー選手！



24 緒方 翔洸
Ogata Kakeru (6年)

①フォワード②24番③スピードのあるドリブル④大事なとき点を決められなかった。⑤選手権大会を優勝。プロのサッカー選手になりたい！



15 村上 慶
Murakami Kei (6年)

①フォワード②15番③ドリブル④九州の強いチームと戦えてよかった。反省点は、全試合得点を決められなかったこと⑤全てのポジションができるようになり、プロのサッカー選手になりたい！



1 吉村 颯汰
Yoshimura Souta (6年)

①ゴールキーパー②1番③大きな声でコーチングとビルドアップ④しっかり声が出せて集中できた。でももっとチームに貢献したかった。⑤セービングを極めて頼れるキーパーになり、大きな舞台に立ちたい！

①ポジション②背番号③得意なプレー
④九州大会の感想と反省⑤今後の抱負と将来の夢



試合風景



9 江藤 魁真
Eto Kaishin (6年)

①ディフェンダー②9番③バックポジションから攻めに転じるオーバーラップ④落ち着いたプレーができた。もう少しパスの精度を上げたい⑤中学生に上がってレギュラー獲得。夢は今まだ模索中。